



# 琢成小学校が酒田港を学習！

## ～酒田港の役割を学びました～

7月16日（木）に、酒田市立琢成小学校の6年生41人が、総合学習の一環として酒田港を学習するために、当事務所を訪れました。皆さんは、修学旅行で仙台塩釜港を見学したりするなど、意欲的に港の学習を行っています。

最初に、当事務所の会議室で、歴史を絡めながら酒田港の成り立ちを紹介。生活に必要な物資、燃料などを輸入し、日用品などを輸出するなど、酒田港は山形県唯一の貿易港として重要な役割を果たしていることなどを学びました。児童達は、500年以上も前から使われている港であることや、自分たちの生活が港から支えられていることを興味深そうに聞いていました。

続いて、北港緑地展望台や国際ターミナルに移動し、実際の酒田港の状況を見学しました。昨年からは好調であるコンテナ貨物の積み下ろし作業や防波堤の前面に設置される波消ブロックを間近で見るとは思いましたが、中でも約50トンもあるブロックの大きさに驚いた様子です。これまで学んできた知識に加え、実際の仕事の様子などを体感して、具体的に酒田港を認識することができたのではないのでしょうか。

酒田港湾事務所では、船を使った港内見学会のほか、今回のような陸上での見学会も開催することができます。小学校の総合学習などにも協力したいと考えておりますので、港の学習を検討されている団体がございましたら、企画調整課（電話33-6314）にご相談ください。



上原所長より歓迎の挨拶



酒田港湾事務所にて「酒田港」の学習



北港緑地展望台にて港の利用状況を説明



間近で波消ブロックを見学



コンテナの積み下ろしを車内から見学

